



◇◇◆◆◇◇ 国際通貨研究所メールマガジン（第 23 号 2014/2/10 発行）

◆◆◇◇ Institute for International Monetary Affairs (IIMA)



<http://www.iima.or.jp/>

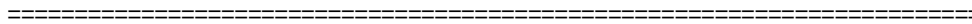


※本メールは配信専用のアドレスからお送りしております。

返信をいただいても当方では受け取ることができません。

閲覧には Adobe Reader が必要です。

Adobe Reader のダウンロードはこちらから→ <http://get.adobe.com/jp/reader/>



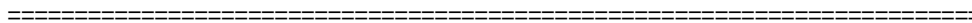
1. 理事長 行天豊雄のコラム 『国際収支の変調と為替相場』

日本の国際収支構造の変化とそれが為替相場に及ぼす影響が話題になっている。もっとも、国際収支と云っても貿易収支もあれば、それにサービスを加えた経常収支もあれば、経常収支の反映である資本収支もある。資本…

(株式会社マネーパートナーズへの寄稿)

(全文はこちらから)

<http://www.iima.or.jp/Docs/merumaga/2014/20140210gyoten.pdf>



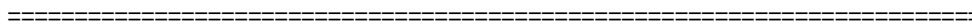
2. 理事長 行天豊雄のコラム 『世界経済 2014』

2014 年の世界経済は、いろいろと予期しない波乱も起こるでしょうが、概してゆるやかな回復を続けると思います。ふり返ってみると、2007 年に米国で発生した住宅担保債券市場の破綻から始まり全世界を巻き込んだ「百年…

(NHK 「視点・論点」 2014 年 1 月 23 日放送)

(全文はこちらから)

http://www.iima.or.jp/Docs/newsletter/2014/NL2014No_2_j.pdf



3. タイ商工会議所 副会頭兼タイ商工会議所大学 (UTCC) 理事

サワラー・サチチャマルガ (Savaraj Sachchamarga) のコラム 『日本訪問記』

For foreign investment in Thailand, Japan is the number one country that invests large scale of capitals in several manufacturing industries. These manufacturing industries require strong support from...

(IIMA メールマガジンへの寄稿)

(全文はこちらから)

<http://www.iima.or.jp/Docs/merumaga/2014/20140210savaraj.pdf>

■ 購買力平価グラフの更新

<http://www.iima.or.jp/research/ppp/index.html>

■ 今月の新着レポート

1. 「アルゼンチンの行方」

年初来のエマージング通貨下落を先導したのはアルゼンチンペソ売りだが、アルゼンチンには、他の国にはない固有の事情があった。1990年代まで遡り、同国が取り組んだ経済改革、その後のロシア・ブラジル危機に巻き込まれた不運などの経緯を解説し、現在のポピュリズム台頭の背景や今後の見通しを概観する。

http://www.iima.or.jp/Docs/newsletter/2014/NL2014No_5_j.pdf

2. 「IIMA-GMVI でみるアルゼンチンショックの影響について」

2014年に入り、アルゼンチンペソの急落を受けて、新興国通貨に対する懸念が強まり、アジア通貨危機の再来を危惧する論調もみられる。本稿では、直近のアルゼンチンペソ下落の世界の金融資本市場に対する影響を昨年10月より国際通貨研究所が公表しているIIMA Global Market Volatility Index(IIMA-GMVI)の動きなどを基に考察する。

http://www.iima.or.jp/Docs/newsletter/2014/NL2014No_4_j.pdf

3. 「ポルトガルの現状と今後の見通し」

2011年5月に始まったトロイカによる支援プログラムは、一部条件緩和等があるものの、

ポルトガル政府の強いコミットもあり、基本的には概ね順調に進んできた。一方で、経済状況を総括すると、危機後の調整局面の最悪期は脱したものの、低成長モデルからの改革途上であり、ポルトガル自身の経済体質の改善には時間を要する。また、政治的なリスクも大きく残る。このような状況を踏まえ、今年6月に支援プログラムが終了するポルトガルの現状と、今後の見通しについて概観する。

http://www.iima.or.jp/Docs/newsletter/2014/NL2014No_3_j.pdf

4. 「ラトビアのユーロ導入とドイツ連銀の憂鬱」

欧州人のユーロプロジェクトの推移を見ていると、よく Devil is in the details ということわざを思いですが、これはまさに最新のユーロ Devil を取り上げた興味深いレポートである。何事もメンバーが増えると当初は想定してなかった運営上の問題にぶつかるものだが、さて、ユーロ圏は今どんな問題にぶつかっているのだろうか。

http://www.iima.or.jp/Docs/topics/2014/248_j.pdf

5. 「ニュージーランドにおけるマクロ・プルーデンス政策の取組み」

ニュージーランド準備銀行による物価の安定と金融システムの安定の両立へ向けた新しいマクロ・プルーデンス政策の取組みについて紹介する。

http://www.iima.or.jp/Docs/topics/2014/247_j.pdf

6. 「マレーシア：ブミプトラ政策のこれから」

高所得国入りに手が届きそうなマレーシア。多民族の融和にもとづくマレーシアの国のかたちを維持してきた建国以来の仕組みをあらためて確認。そのうえで今後の視点を示唆する。

http://www.iima.or.jp/Docs/topics/2014/246_j.pdf

■ 今週のキーワード

- ★アルゼンチン危機
- ★ボラティリティ
- ★財政再建目標
- ★マクロ・プルーデンス政策
- ★ブミプトラ政策

レポートに関連する専門用語の参照はこちらから

<http://www.iima.or.jp/Docs/keyword/keyword.pdf>

■ 今月の IIMA

下期、IIMA は 3 大学で講義を行いました。公益財団法人である IIMA にとって、大学での講義は社会への研究成果の還元を行う重要な事業です。

2 月は試験の時期です。3 講義のうちの 1 つで日本語でのレポートを課しました。実は学生の中には相当な数の中国人留学生がいるのですが、なかなかしっかりとしたレポートを書いてきたそうで、担当者はその作文能力に驚いていました。この大学に限らず、IIMA が担当した他大学の講義でも中国人留学生達が熱心に履修してくれています。ささやかながら、日中関係に貢献できることを願っています。

【バックナンバー】

<http://www.iima.or.jp/mailmagazine.html>

【次号】

2014 年 3 月 10 日配信予定

【メールマガジンの配信停止・配信先変更】

<https://m.entryform.jp/m/iima/>

【各種お問い合わせ】

admin@iima.or.jp

◇発行◇*****

公益財団法人 国際通貨研究所

〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町 1-3-2 三菱東京 UFJ 銀行日本橋別館 12 階

[HP] <http://www.iima.or.jp>

***** Copyright (C) IIMA All Rights Reserved. *****